

心の輪11R



『**小さな一歩**』という資料を通して、
『**よりよい集団づくり**』について
考えを深めました！



美化委員長の理恵は、学校の美化活動を盛り上げるために様々な取組に力を入れる。しかし、周りの美化委員はそれぞれ不平や不満を口にする。勝手なことを言う委員たちに怒りを覚える理恵だったが、友達で栽培委員である麻衣との話をする中で、これまでの自分の持っていた怒りに恥ずかしさを感じる。そして、美化委員会をよりよくするためにはどうしたら良いかを理恵は考え、これまでとは違った考え方を持つようになる。『よりよい集団』をつくるために必要な『小さな一歩』とは一体何なのだろうか？

よりよい集団づくりには、自分だけではなく、みんなで協力して行くことが大事だと思います。

集団をよりよくするためには、一人一人が他人の気持ちを考え、自分だけじゃなく、しっかりと周りを見て「無理矢理」ではなく、「意見を聞いて」という小さな一歩が必要だと思った。

「小さな一歩」とは、自分のことだけを考えるのではなく、周りのことも考えて行動することだと思った。周りの人も協力すると「大きな一歩」へとつながるんだと思った。

自分のことばかり考えずに、人の気持ちも思いやることが大切だと思った。一人が変わるだけじゃなくて、みんな変わると良いと思った。

僕は、まずは一人一人が自分の意見を言えて、周りがそれぞれ意見をしっかりと聞いていけば、良い集団になると思う。

集団の中の自分に胸を張れ!!

「かけがえのない存在」である一人一人が集まって、集団が構成される。そんな集団の中で、あなたは……。


人間は社会で生きていくために、何らかの集団の一員になっている。自分の意志で所属することもあれば、学級のように、決められた集団に所属することもある。

どんな集団でも、目標を達成したり、そこでの生活を向上させたりしていくためには、構成する一人一人が協力し合い、役割と責任を果たすことが必要となる。

集団の中でも互いに尊重し合い、その目標を着実に実現し、他の集団からも尊敬される、そんな集団をつくっていくためには、どうしていけばよいのだろうか。

文部科学省資料
『私たちの道徳』P.166より引用

一人一人が、集団の中で輝くための人間関係を考えてみましょう。



私は『ちいさな一歩』を読んで、よりよい集団づくりへの考え方が深まりました。理恵は、自己中で「自分さえ良ければ」みたいな感じだけど、大切なのは麻衣の考え方の「他の人の意見も大切にすること」だと思いました。

みんなが周りのことを見て、相手の気持ちを考えることが出来たら、良い集団になると思います。自分の意見を、勇気を持って言うことが良いと思います。